

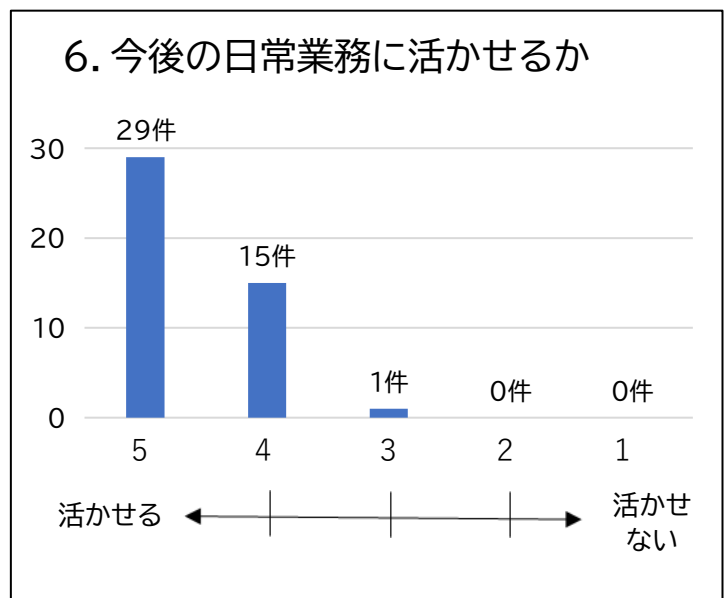
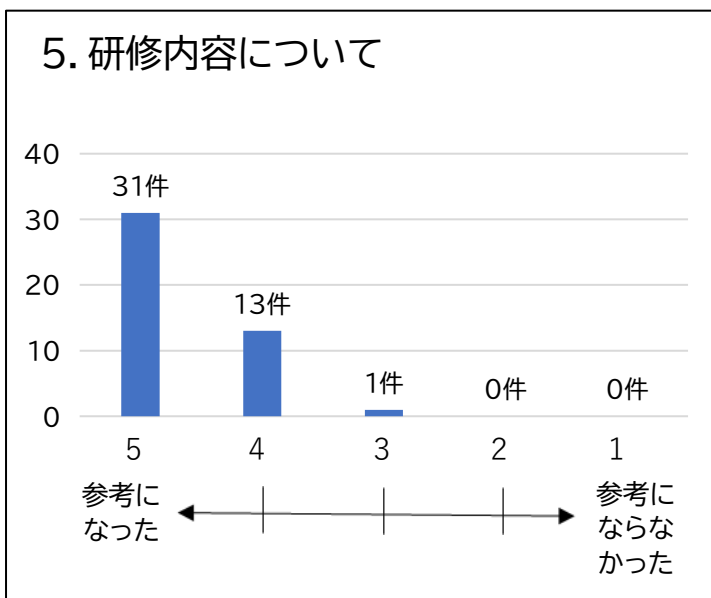
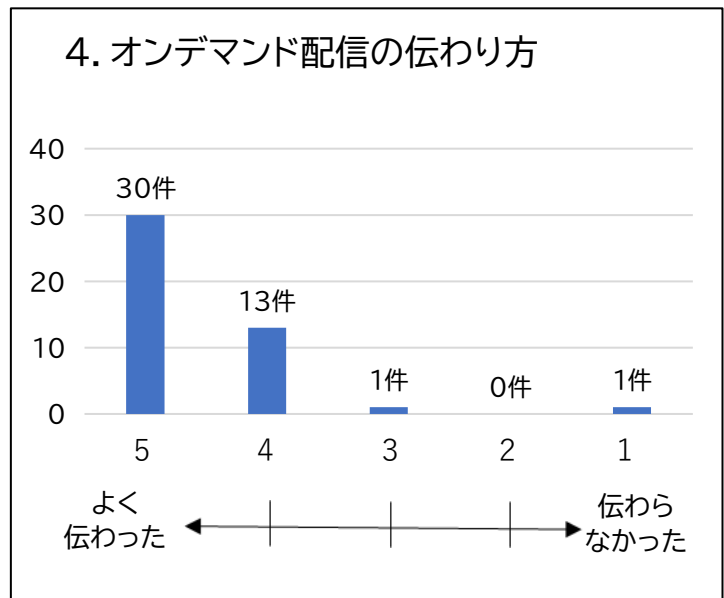
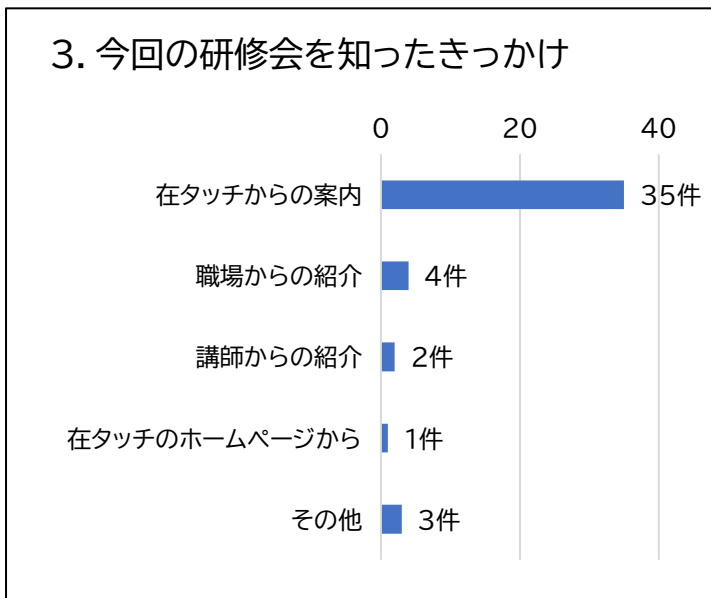
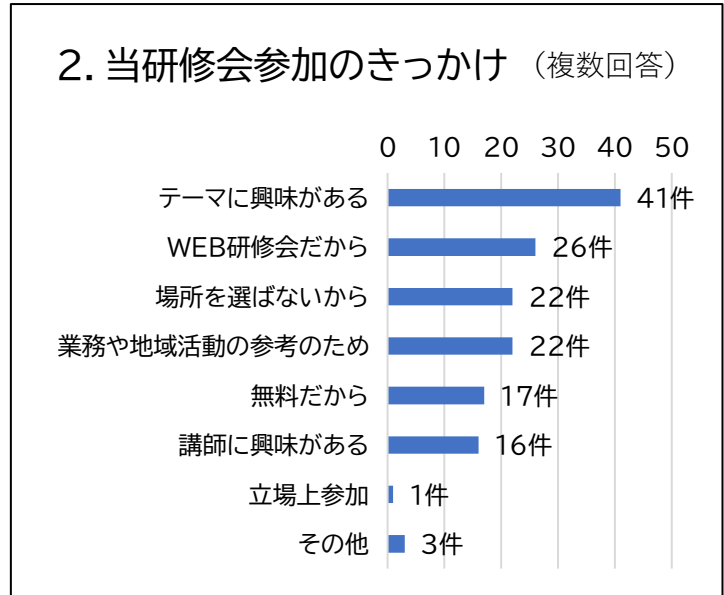
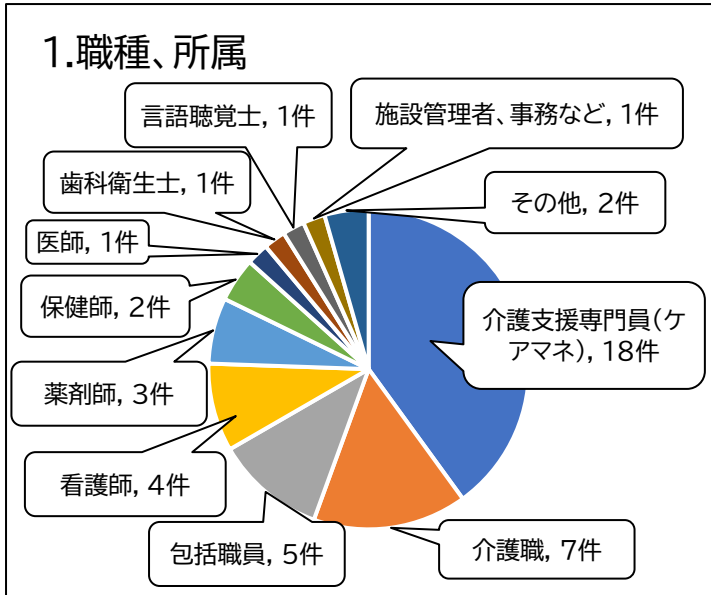
第24回 多職種連携 医療・福祉セミナー

テーマ「一歩近づく質問力～ぐっと近づく関係性を手にする方法～」 講師:茂木千明 先生(精神科医・美容皮膚科)

配信期間:令和5年2月15日～2月23日

一週間再生回数:291回(視聴回線:159件) アンケート回答者:45名

申込者:159名



## 7. ご感想、ご意見(フレイル予防シリーズ第8回の内容について皆さまのアイディア等)

### (アンケートより一部掲載)

- ・ 医療の現場だけではなく、日常業務や私生活でも応用できるテーマでとても参考になりました。
- ・ 福島市に住んでいる方にフレイルに関してどこまで理解できているか調査して実際の現状を知る事も大切かと思いました。
- ・ コロナ禍から脱出して、地域のお茶飲み会で笑顔を見たいですね。
- ・ 地域で元気に暮らしている高齢者の方々が、実際どんなところに集まりどんな活動をされているのかというのを包括の職員以外はあまり分からない、想像出来ないのかなと感じることがあります。住民同士の声の掛け合いの方が、専門職が働きかけるよりも効果的なこともあるので、対象者がこれまでどんな繋がりを持ってきて暮らしてきたのか、そういったことを聞き出す、活用するような働きかけもフレイル予防では大事な事かと思います。
- ・ これからの高齢化社会、核家族社会でフレイル予防を行っていくためには地域が一つの集合体(大家族)の発想でつながっていくことが必要だと思います。そのためにはご近所には「このような方がいる」と皆さんが知っていくことが大切だと思います。町内会の集まりも希薄化している昨今においてその代わりになるような皆さんが知り合える場所(興味を持って集まれる場所←どんな方でもこれる)が増えるといいなと思います。
- ・ その人を気に掛ける活動とはどういうことか？現在ほどのような状況で生活しているか隣近所で把握すること。班で話し合う場を持ち気になる方がいる等報告し合い必要時地域包括や民生員へ伝える等。
- ・ 先程の質問にもあったが、アセスメントの仕方の例等も聞かせて欲しい。
- ・ 大変おもしろく、知識にすることができました。実際に活用させて頂きたいと思っています。患者さんの思いを実現したり、認めたりしながら関わるには、どのような社会資源があるかわからない。つなげ方がわからない。
- ・ \*信頼関係はコミュニケーション力だと感じました。コミュニケーションを展開をする際にチャンクを上げ、相手との共通点を探しながら会話をしていきたいと思えます  
\*エピソード+感情の手法、雑談と聞かなければならないことの枠を別にして話す手法。とても参考になりました。明日からの仕事に活かしていきたいと思えます。
- ・ 地域と協働できる支援について考えたい
- ・ 効果が具体的にわかって、楽しく、気軽に参加でき、気がついたら元気になっていたみたいな工夫、仕組み。場所は重要。高齢者は、未来の話をするのが苦手かも。今回の研修を受けて、どうなりたいか。どんな生活を送りたいか、具体的にイメージしてもらえることで、フレイル予防のヒントがもらえるのではないかと思います。一人一人の夢を叶える取り組みが出来たら素敵ですね。